

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 平成29年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億5,800万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益17億992万8千円、電気事業費用15億5,491万7千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入1,757万8千円、資本的支出4億7,943万1千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を着実に推進します。併せて、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナ、発電機コイルの改造等による出力向上）を計画的に推進する取り組みとして、生見川発電所及び菅野発電所に係る水車ランナの製作を実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成29年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増 減 (A)－(B)
年間総販売電力量	157,860 MWH	154,703 MWH	3,157 MWH

第12表 平成29年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成29年度 当初予算額(A)	平成28年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収益的収入				
電気事業収益	1,709,928	1,719,513	△ 9,585	99.4
営業収益	1,668,056	1,674,607	△ 6,551	99.6
附帯事業収益	27,576	26,659	917	103.4
財務収益	4,287	8,320	△ 4,033	51.5
事業外収益	10,006	9,924	82	100.8
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,554,917	1,504,396	50,521	103.4
営業費用	1,437,441	1,380,876	56,565	104.1
附帯事業費用	19,852	20,121	△ 269	98.7
財務費用	21,761	27,812	△ 6,051	78.2
事業外費用	72,860	72,584	276	100.4
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	17,578	1,781,517	△ 1,763,939	1.0
資本剰余金	15,050	85,201	△ 70,151	17.7
固定資産収入	1	1,600,001	△ 1,600,000	0.0
雑収入	2,527	96,315	△ 93,788	2.6
資本的支出				
資本的支出	479,431	4,689,036	△ 4,209,605	10.2
建設費用	63,000	211,000	△ 148,000	29.9
改良費用	252,437	304,087	△ 51,650	83.0
投資	1	1	0	100.0
償還金	160,893	170,848	△ 9,955	94.2
長期貸付金	0	4,000,000	△ 4,000,000	-
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億6,185万3千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び消費税資本的収支調整額）で補てんします。

(2) 平成28年度下半期の業務の概要

平成28年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の132%となり、平成28年度の販売電力量は目標に対して133.2%、電力料金収入は目標に対して106.6%となりました。

また、最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の増などにより8,582万8千円の増額補正を、収益的支出予算においては、物件費の減などにより78万8千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において18億534万1千円、収益的支出において15億684万6千円、資本的収入において16億6,216万8千円、資本的支出において45億3,572万6千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設工事に着手するとともに、既存水力発電の設備更新に合わせたリパワリングを計画的に推進する取り組みとして、生見川発電所及び菅野発電所に係る供給力増強調査を実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成28年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	2,994,000	170,848	2,245,865	748,135
錦川水系発電所	1,559,000	89,087	1,159,755	399,245
佐波川発電所	286,000	16,122	202,583	83,417
木屋川発電所	152,000	9,176	107,506	44,494
新阿武川発電所	205,000	11,285	134,772	70,228
末武川発電所	624,000	34,948	495,239	128,761
小瀬川発電所	168,000	10,230	146,010	21,990
一 時 借 入 金	—	—	—	0

2 工業用水道事業

(1) 平成29年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,000万 m^3 と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益66億9,242万3千円、工業用水道事業費用58億8,328万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入18億5,943万円、資本的支出61億9,126万6千円を計上し、企業債15億2,443万5千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、島田川工業用水道建設事業などを実施します。

さらに、新規に受水する企業等が施工する受水槽及び接続管などの設備設置に対する新たな助成制度の創設などによる需要拡大等の諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成29年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	579,780,600 m^3	579,769,650 m^3	10,950 m^3

第15表 平成29年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成29年度 当初予算額(A)	平成28年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	6,692,423	6,809,160	△ 116,737	98.3
営業収益	6,175,134	6,264,197	△ 89,063	98.6
営業外収益	517,286	544,960	△ 27,674	94.9
事業外収益	0	0	0	—
特別利益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	5,883,289	5,910,579	△ 27,290	99.5
営業費用	5,517,394	5,497,659	19,735	100.4
営業外費用	355,892	402,917	△ 47,025	88.3
事業外費用	0	0	0	—
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資本的収入	1,859,430	2,094,462	△ 235,032	88.8
企業債	1,300,000	1,500,000	△ 200,000	86.7
資本剰余金	308,993	159,846	149,147	193.3
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	250,436	434,615	△ 184,179	57.6
資 本 的 支 出				
資本的支出	6,191,266	6,870,612	△ 679,346	90.1
建設費	1,322,117	628,069	694,048	210.5
改良費	3,326,446	3,593,464	△ 267,018	92.6
投資	1	1	0	100.0
償還金	1,524,435	1,637,078	△ 112,643	93.1
長期貸付金	0	1,000,000	△ 1,000,000	—
補助金返還金	8,267	2,000	6,267	413.4
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額43億3,183万6千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 平成28年度下半期の業務の概要

平成28年度は、渇水に伴う自主節水に対する減免措置や大幅な減量等が発生していないことから、安定経営を確保することができました。

また、工業用水の安定した供給に資するため、島田川工業用水道建設事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の増加などにより9,667万円の増額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより7,362万円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより2億7,296万3千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより2億4,127万1千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において69億583万円、収益的支出において58億4,238万5千円、資本的収入において18億4,043万5千円、資本的支出において67億934万1千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

(平成29年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成28年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	34,032,744	1,639,602	16,564,423	17,468,321
小瀬川工業用水道	2,240,000	131,156	1,518,070	721,930
向道・川上工業用水道	1,067,000	54,995	640,205	426,795
周南工業用水道	9,615,000	422,128	3,521,355	6,093,645
佐波川工業用水道	682,000	36,748	285,566	396,434
厚東川工業用水道	6,903,000	340,366	3,562,742	3,340,258
木屋川工業用水道	3,300,000	154,397	1,640,697	1,659,303
生見川工業用水道	80,000	5,605	80,000	0
富田夜市川工業用水道	1,370,000	58,589	347,897	1,022,103
厚東川第2期工業用水道	1,988,000	79,411	685,443	1,302,557
厚狭川工業用水道	2,656,000	134,136	1,249,192	1,406,808
木屋川第2期工業用水道	544,000	37,578	525,158	18,842
末武川工業用水道	247,000	17,412	217,590	29,410
佐波川第2期工業用水道	174,000	14,660	146,779	27,221
小瀬川第2期工業用水道	3,166,744	152,421	2,143,729	1,023,015
一 時 借 入 金	—	—	—	0